

黒部を未来へつなぐ

まさゆきの8つの想い

1. 観光地整備と情報発信力の強化
2. 住み続けたいと思えるまちづくり
3. 安心・安全なまちづくり
4. 都市基盤の整備
5. 人口減少時代のまちづくり
6. 災害に強いまちづくり
7. 働き場所のあるまちづくり
8. 生き生きと生活ができるまちづくり

成川まさゆき
ホームページQRコード
こちらからどうぞ!



◎ご挨拶

被災地・被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。この度の「平成28年熊本地震」において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。被災地においては一日も早い復旧を、お祈り申し上げます。

さて、私が議員として働かせていただき1年半が経過いたしました。その間、地域はもとより、観光、環境、福祉、教育など、さまざまな黒部市の課題に対し、懸命に取り組んできました。活動していく中で、議員になる前には見えなかったもの、気づかなかったものが多いとあることが分かり、何とかした

い、どうすれば上手くいくのかを常に考えながら少しでも前進できるように進めてまいりました。本年も「小さな声もしっかり耳を傾け、市政に反映する。」そして「未来をしっかりと見据えて、子どもたちにふるさと黒部を繋いでいく。」この2つを常に考えながら、市民に信頼される議員であり続けたいと思っております。

ふるさと黒部の未来は明るく希望に満ちています。もっと輝かせるため、これからもう一生懸命頑張りますので、ご指導よろしくお願ひします。

成川 正幸

<各種視察・調査・体験>

3月議会 一般質問



オープンデータの推進や図書館のあり方、インバウンド観光について質問しました。

鯖江市オープンデータへの取組み視察



コンピュータを使ってまちづくりを行っている先進事例を学んできました。

群馬県移住者セミナー視察



他自治体のセミナーに参加し、移住者への取組内容を調査してきました。

透明文字盤体験



難病コミュニケーションセミナーにて体験しました。



黒部は今、分岐点！ 先人の努力を次世代へ つないでいきたい。

黒部市議会議員
なりかわ

成川まさゆき

facebookで活動公開中！



平成27年12月議会

1. 福祉避難所について



①協定締結後の情報交換・研修について
締結後に施設の職員、各地区振興会、自主防災会、民生委員の方々と研修会を開催している。
情報交換については、福祉避難所に限った情報交換は行っていないが、地域ケア会議などで随時各施設と連絡を取り合っており、連携はスムーズにできるものと考えている。

②医療福祉の専門員が必要だが人員体制について
ガイドラインでは概ね10名につき1名の生活相談職員を配置することになっていく。しかしながら各施設には人員の余裕はなく、災害時には他の介護施設、近隣市町村、県または災害協定を結んでいる自治体などに人員の派遣要請を行う必要があると考えている。

③施設の避難者の想定について
協定では、特に高齢者とは限らず、障がいのある方、妊婦等も対象になる。

④マニュアルの策定状況について
策定していない。日本赤十字社が策定した「福祉避難所設置・運営に関するガイドライン」に基づき対応したいと考えている。

⑤3施設の受け入れ可能人数について
50人から70人と見込んでいる。

⑥在宅介護が進み、満員も考えられるが今後の見通しと進め方について
定員を超える場合は、優先度の高い方から避難してもらうことになる。今後受け入れ先の確保のため市内の介護施設や障がい者支援施設と災害時の協力・連携に向けて協定の締結を進めていきたい。

※まさゆきの視点
いざという時には、どこにどの様な症状の方を避難させるのか全く決まっていない状況です。現在の福祉避難所としての協定は特養老人ホームのみであり、特養老人施設に待機者や障がい者が避難できるのが疑問です。それにマニュアルも「誰が作ったか分からない」「見た事もない」ものを有るの際に活用できるとは到底思えません。
市は出来るだけの答弁ですが、福祉の現場から不安の声・作成してほしいとの声があがっている事からも引き続き、二次避難所である福祉避難所の重要性を提言していきたいと思えます。いつ起こるか分からない自然災害。誰がどこにどうやって避難するのか、皆さんも一度考えてみてください。

2. 「障害者差別解消法の対応について」

①「市役所など公的施設での対応要領の現状」について
市としても、社会における障がいのある人への差別をなくすことで、障がいのある人もない人も共に生きているまちづくりをすすめていきたいと考えている。

今後、国が定める基本方針に基づいて市職員が行う事務及び事業において、障がい者への不当な差別的取扱いととならないようにするとともに合理的配慮をするために必要な対応要領を作成することとしている。また、市職員、公的施設に働く方々をはじめ一般市民の皆様に対し、法の理解を深めるための研修や啓発活動を行うなどの分野に即した対応を進めることができるよう、働きかけていく。

②障害のある子どもが充実した教育を受けるための補助的人員の増員と学校での取り組みについて
本市では、障害のある子どもの教育に関する基本的な考え方として障害の有無に関わらず、できるだけ同じ場で学ぶことを大切に考えており、

その場合に授業内容が分かり、学習活動に参加している実感や達成感を持ちながら、生きる力を身につけていけるかどうかという視点も大切だと考えている。
スタディ・メイト及びスキルカウソンの必要に応じて年々、増員するなどの拡充をしており、学校全体が落ち着いてきたことや一人ひとりの子どもが自信を持って学習に取り組めるようになってきていることから、今後も引き続き支援体制の充実に努めていきたい。

③災害時に一時避難所となるえる学校などのバリアフリー化の進捗状況について
障害のある子どもが就学する際には、その都度、必要な校舍改修工事を行っている。

また、全ての小中学校が市指定避難施設であり、学校施設は子どもたちの学習・生活の場であるとともに、地域住民の避難場所としての大事な役割もあることから、これまでも新築の際にはもちろん、改修の際にもバリアフリー化を意識しながら施設整備の際にはもちろん、改修の際にもバリアフリー化を意識しながら施設整備に努めてきている。

※まさゆきの視点
暮らしやすい黒部市を目指して、どのような方でも安心して生活ができる社会になればと思っています。多くの方の意見を伺いながら今後も取り組んでいきます。

3. 都市間連携について

①定住自立圏の中心市要件を満たしている事から、定住自立圏構想を検討してはどうか。
各市町村においては総合戦略を策定し、定住やまちづくりに関する取り組みの方向性を定めたばかりであり、現段階では、具体的な定住自立圏の形成に向けて協議を行う状況にはないと考えている。

②姉妹都市交流以外にも、大野市との災害時総合協定などが締結されているように全国都市との観光連携協定や文化交流都市協定などの地域連携を検討してはどうか。
本市における他都市との地域間連携としては、北陸新幹線沿線の駅所在自治体と北陸新幹線停車駅都市観光推進会議を立ち上げ、観光振興や誘客面で連携を図っている例が挙げられる。

観光や文化交流における地域連携については、その必要性や効果などを見極め、相手の意向も踏まえたいうえで、必要なものについては、検討していきたい。

※まさゆきの視点
1つの自治体ですべてを賅うことは限界があり、今後はさまざまな所と連携し、お互いの弱みを補いながらの自治体経営が黒部市にも必要だと考えています。自分たちの自治体ができるような特徴を持って何が強み弱みかをしっかりと把握し、行動を起こしたところが上手くいくと考えています。今後も引き続き提案していきたいと思えます。

【参考】

◆定住自立圏構想（中心市）の要件
①人口5万人を基本に、少なくとも4万人を超えていること。

②昼夜間人口比率が10以上であること

※県内の要件該当市…富山市、高岡市、射水市、津津

◆全国の認定状況

うち中心市要件を満たす市→253市

うち中心市宣言都市→123市（協定締結都市447市町村）

（富山、石川、福井は該当なし）市、黒部市

◆定住自立圏を構成する市町村への支援

①特別交付税

包括的財政措置…中心市8、500万円程度

②地域活性化事業債の充当…充当率90%、交付税算入率30%

③関係各省の事業の優先採択



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください。

<後援会連絡先>

成川正幸（なりかわ まさゆき） TEL(0765)57-1189

黒部市植木107-7 FAX(0765)57-1189

携帯090-1317-7155 Mail: masa.narikawa@gmail.com

平成28年3月議会

1. オープンデータの推進について

①「市所有のデータを著作権フリーにして民間活用へ」
本市の現状としては、ホームページで人口の推移や統計情報等の行政情報を提供しているが、2次利用を想定した情報提供とはなっていない。今後は、総合振興計画の基本理念である「市民の参画と協働によるまちづくり」の観点を踏まえつつ、どのようなデータが公表出来るのか検討し、早く活用できるように進めていきたい。

※まさゆきの視点

オープンデータとは、誰もが自由に利用でき、再利用や再配布が許可されているデータのことを指します。推進の目的は、「行政の透明性や信頼性の向上」「官民協働による公共サービスの提供、民間サービス創出の促進」「新ビジネスの創出や企業活動の効率化を通じた経済活性化」の3つです。
民間の技術・アイデアを組み合わせたり、交流すると新しい事業が始まり、少ない労力と予算で出来るのがITの世界です。
今までの価値の見直し、新しいインフラ、オープンデータ・ITを活用し、課題を解決していく姿がこれからの協働の地域づくりになってくるでしょう。
私たちの税金で作成されたデータです。それをみんなで使えるようにする事で生活しやすい地域になれば良いと思いませんか？

2. 図書館のあり方について(ソフト面)

①「司書の配置人数と増員」について
黒部市立図書館、宇奈月館を合わせた職員数は、正規職員6名、嘱託職員4名、延長開館等の臨時職員もおります。そのうち司書については、正規職員2名、臨時職員4名を配置している。今後の図書館については、より良いレファレンスサービスを目指し、増員が必要であると考えている。レファレンスサービスとは、図書

館にある資料などを使って、司書が調べものや資料・情報探しのお手伝いをするサービス。

②「図書館と学校図書館の連携」について
黒部市子ども読書活動推進計画の取り組みとして挙げられている。団体貸出の利用促進、学級招待の積極的な利用の働きかけや子ども読書の日、こどもの読書週間に合わせて企画展、宇奈月中学校全年対象に職員の出前講座を開催しており、連携をより深めていきたいと考えている。

③「企業や各種団体との連携」について
ビジネス活動を支援するサービスを充実させることは重要である。新図書館に向けて検討をしていきたいと考えている。



④「指定管理でなく、直営で行うべき」について

ツタヤ図書館等における新聞等の報道によって、指定管理について、住民の関心が高くなってきている。図書館協議会においても直営が望ましいとの意見がある。今のところ、直営で考えているが、状況を踏まえ、調査・検討していきたい。

⑤「黒部と宇奈月の2館の資料収集」について

現在の資料収集のすみ分けについては、平成23年に報告を受けた黒部市立図書館建設基本構想を踏まえては、主に山岳で購入関連資料については宇奈月館で購入手続きしている。今年度、宇奈月館が「黒部市赤ちゃんの駅」に指定され、来年度からは「あかちゃんタイム」を本格実施することとしており、各館相互の活性化につながる努力をしていきたいと考えている。

⑥「どのような図書館像を描いているか」について

前年度より、図書館の関係団体と新図書館について、意見交換会を開催したり、読み聞かせボランティアの活動支援を行ったりしている。親しみの持てる利便性の高い図書館を目指したいと思っている。

前年度より、図書館の関係団体と新図書館について、意見交換会を開催したり、読み聞かせボランティアの活動支援を行ったりしている。親しみの持てる利便性の高い図書館を目指したいと思っている。

※まさゆきの視点

図書館の場所やそれに付加する施設の話が先行しています。しかし日ごろから図書館を利用していただく方は、利用しやすく便利になることを一番望んでいます。地域のレベルアップには、教育が重要です。その教育の中枢が図書館だとすれば、どんな図書館が私たちにとって必要なのか、みんなで考えていきたいと思えます。

3. インバウンド観光について

①「黒部市のインバウンド観光の現状はどうか」について
新幹線開業後の宇奈月温泉及び黒部峡谷鉄道を合わせたインバウンド入込客数は43,940人、前年比15.94%の増加と好調で、内訳は台湾が突出して多く21,586人、続いて韓国11,544人、中国6,975人となっています。また最近では、香港、インドネシア、タイ、シンガポールなどが増加傾向にある。

②「国別の施策の考えはあるか」について
観光客の多い台湾については、昨年11月、県や市内の商工・観光事業者と連携し観光誘客のトップセールスを実施した。大手旅行会社等5社を訪問し、担当者などと直接意見交換を行ったところであり、誘客に向けたPRをするだけでなく、ニーズの把握の必要性を再認識したところである。今後、施策について検討していかなくてはならない。観光振興計画策定の際には検討してみたい。

「インバウンド(外国人旅行者)施策について地域間の連携が必要では」について
インバウンド対策は、地域間の連携により対応すべき大きな課題であり、受入れにあたっては、広域的かつ官民が連携して行うべきものと考えている。

新川地区2市2町で構成する、にかわ観光圏では28年度の事業計画として、インバウンド受け入れを含む地域課題の整理を、行政、観光団体事業者等と連携して取り組むこととしており、インバウンドに対応したポスター等の作成も検討している。新年度において官民が連携を強化する予定にしており、しっかりと議論したい。

※まさゆきの視点

安倍晋三内閣総理大臣を議長とする「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」が3月30日に開催され、2020年に4千万人訪日、8兆円消費という新たな訪日外国人の目標値が示されました。
「団体から個人」「海外旅行の増加」「人口減少」「レジャーの多様化」などで国内旅行者が簡単に増えない状況の中で、2013年に1千万人を超えた外国人旅行者は、2年間で倍近くになりました。本市のような地方都市に訪れてもらうためには、より早くPR方法も含めた整備をしっかりと整えることが大事であると考えます。皆さんはどう思われますか？



I LOVE KUROBE



【予算】黒部市に入ってくる収入を見積り、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが納めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われたのかを示したものです。どのような予算があるのでしょうか？予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの会計（一般会計・特別会計・企業会計）に区分しています。

<平成28年度の黒部市当初予算>

◎一般会計…208億4,000万円

◎特別会計…63億7,892万円（国保、牧場、簡易水道、など7事業） ◎企業会計…183億8,881万円（病院、水道、下水道）

【収入（歳入）】

- ・地方交付税…国は、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスが提供されるように、国の収入（所得税・法人税・酒税など）から、一定の割合を地方公共団体の財政状況等に応じて配分されるお金。
- ・補助金…国や県などが、市町村の事務や事業に対して補助するお金。
- ・市債…市が事業を実施するために国や金融機関から借り入れる借入金。
- ・繰入金…収入の不足を補うため基金から繰り入れるお金。

【支出（歳出）】

- ・普通建設事業費…道路、橋、公園、学校等の公共施設の建築費、大規模修理など社会資本の整備に使われます。
- ・扶助費…法に基づき高齢者や子ども、障がい者などを援助するために使われます。
- ・繰出金…特別会計に支出する経費（下水道事業など）
- ・物件費…物品購入、光熱水費、業務委託料など
- ・人件費…職員の給与や議員の報酬など
- ・公債費…施設や道路などを整備するときに国や銀行から借りたローンの返済金の事です。
- ・総務費…自治振興の経費や安心・安全なまちづくり、庁舎の維持管理費などが含まれます。
- ・自主財源…自治体が独自でお金を集めることが出来るものです。
- ・依存財源…国や県から交付されるお金。国や銀行からの借入金など自主財源以外のお金。
- ・義務的経費…人件費のほか、医療費助成などの扶助費、ローン返済のための公債費など必ず支払わなければならない費用です。この割合が大きくなると自由に使えるお金が少なくなります。
- ・投資的経費…施設整備などの公共工事や車両や機械の購入等に使われます。多いほど、財政構造に弾力性があると言われてます。

Q. 借金（市債）をするのは、なぜ？
 A. 学校や公共施設の建設、道路などが整備するために一度に多額の工事費等の経費がかかります。そのための経費を国や銀行などの金融機関から借金をしていただきます。
 支出（歳出）は、借金をせずに市債以外の収入（歳入）で賄うことが原則ですが、大規模な工事等多額な場合に資金繰りという面だけでなく、これらの社会資本整備のための費用については、将来世代の市民にも負担してもらうことが公平であるという考えから、黒部市では国が借金（起債）することを認めた事業については市債も支出（歳出）の財源としています。
 しかし、できるだけ将来世代に借金を残さなくてすむように公共施設再編など無駄なものを排除し、節約に努めたいかなければなりません。

周辺自治体予算表

※周辺自治体の予算表を作成してみました。数字は、各自治体ホームページからのものです。空白の部分はホームページ等で非公表だったため記載せず。この表を見るだけでも各自治体の特徴が表れているのが分かります。

	当初予算 単位:万円											予算÷人口=1人当たりの予算(円)							
	黒部市	魚津市	富山市	滑川市	入善町	朝日町	黒部市	魚津市	富山市	滑川市	入善町	朝日町	黒部市	魚津市	富山市	滑川市	入善町	朝日町	
一般会計	2,084,000	1,850,000	15,577,076	1,200,389	1,077,420	816,256	100%	100%	100%	100%	100%	100%	508,020	430,653	372,498	358,861	424,884	667,039	
自主財源	市税	769,803	655,000	7,201,346	467,957	322,674	36.9%	35.4%	46.2%	39.0%	29.9%	19.6%	187,656	152,475	172,207	139,897	127,247	131,034	
	繰入金	73,455	46,040		70,125	96,066	3.5%	2.5%		5.8%	8.9%	12.6%	17,906	10,717		20,964	37,884	83,941	
	諸収入	63,786	77,600		38,385	49,388	3.1%	4.2%		3.2%	4.6%	4.2%	15,549	18,064		11,475	19,476	27,985	
	使用料及び手数料	31,794	32,000		18,624	27,564	1.5%	1.7%		1.6%	2.6%	2.5%	7,750	7,449		5,568	10,870	16,650	
	その他	55,445	53,860		33,269	8,588	2.7%	2.9%		2.8%	0.8%	1.9%	13,516	12,538		9,946	3,387	12,684	
計	994,283	864,500		628,360	504,280	333,205	47.7%	46.7%		52.3%	46.8%	40.8%	242,378	201,243	172,207	187,851	198,864	272,293	
依存財源	市債	233,800	223,400	1,478,030	58,630	101,830	11.2%	12.1%	9.5%	4.9%	9.5%	11.5%	56,994	52,004	35,344	17,528	40,157	76,391	
	県支出金	122,019	130,100	1,051,071	92,311	77,491	43,984	5.9%	7.0%	6.7%	7.7%	7.2%	5.4%	29,745	30,285	25,134	27,597	30,559	35,943
	国庫支出金	240,198	220,100	1,945,743	140,587	90,219	53,186	11.5%	11.9%	12.5%	11.7%	8.4%	6.5%	58,555	51,236	46,529	42,029	35,578	43,483
	地方交付税	388,000	295,700	1,740,000	205,000	249,000	260,000	18.6%	16.0%	11.2%	17.1%	23.1%	31.9%	94,583	68,835	41,609	61,286	98,194	212,470
	地方消費税交付金	76,800	85,000		55,000	40,000	22,000	3.7%	4.6%		4.6%	3.7%	2.7%	18,722	19,787		16,442	15,774	17,978
	その他	28,900	31,200		20,501	14,600	10,401	1.4%	1.7%		1.7%	1.4%	1.3%	7,045	7,263		6,129	5,758	8,500
計	1,089,717	985,500		572,029	573,140	483,051	52.3%	53.3%		47.7%	53.2%	59.2%	265,642	229,410		171,010	226,019	394,746	
合計	2,084,000	1,850,000	15,577,076	1,200,389	1,077,420	816,256	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	508,020	430,653	372,498	358,861	424,884	667,039	
投資的	普通建設費	391,089	317,943	1,620,042	92,537	174,288	13.1%	17.2%	10.4%	7.7%	16.2%	16.1%	95,336	74,013	38,740	27,664	68,731	107,545	
	災害復旧費	3,156	3,635	2,050	0	200	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	769	846	49	0	79	0	
	計	394,245	321,578	1,622,092	92,537	174,488	131,603	13.3%	17.4%	10.4%	7.7%	16.2%	16.1%	96,106	74,859	38,789	27,664	68,810	107,545
義務的	扶助費	288,970	291,389	2,937,265	283,554	128,910	13.9%	15.8%	18.9%	23.6%	12.0%	7.3%	70,443	67,831	70,239	84,770	50,836	48,684	
	人件費	290,431	275,165	2,569,752	158,849	166,622	131,848	13.9%	14.9%	16.5%	13.2%	15.0%	16.2%	70,799	64,054	61,451	47,488	65,708	107,745
	公債費	248,405	151,530	2,391,266	104,358	133,053	87,260	11.9%	8.2%	15.4%	8.7%	12.3%	10.7%	60,554	35,274	57,183	31,198	52,470	71,308
計	827,806	718,084	7,898,283	546,761	428,585	278,682	39.7%	38.8%	50.7%	45.5%	39.8%	34.1%	201,796	167,160	188,873	163,456	169,014	227,737	
その他	繰出金	140,415	294,749	1,572,737	180,485	133,567	64,863	6.7%	15.9%	10.1%	15.0%	12.4%	7.9%	34,229	68,613	37,609	53,957	52,673	53,006
	物件費	238,926	275,103	2,100,612	200,218	139,027	112,847	11.5%	14.9%	13.5%	16.7%	12.9%	13.8%	58,243	64,040	50,232	59,856	54,826	92,218
	補助費等	357,818	169,032	1,893,210	129,690	129,971	168,121	17.2%	9.1%	12.2%	10.8%	12.1%	20.6%	87,226	39,348	45,273	38,771	51,254	137,387
	その他	124,790	71,454	490,142	50,698	71,782	60,140	6.0%	3.9%	3.1%	4.2%	6.7%	7.4%	30,420	16,633	11,721	15,156	28,307	49,146
計	861,949	810,338	6,056,701	561,091	474,347	405,971	41.4%	43.8%	38.9%	46.7%	44.0%	49.7%	210,119	188,635	144,835	167,740	187,060	331,757	
合計	2,084,000	1,850,000	15,577,076	1,200,389	1,077,420	816,256	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	508,020	430,653	372,498	358,861	424,884	667,039	

なりかわ facebook で活動公開中!
成川まさゆき



なりかわ
成川まさゆき後援会
 〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7
 TEL & FAX (0765) 57-1189
 Mail/masa.narikawa@gmail.com